

施設類型 子育て支援施設

施設分類 保育所

①施設概要

児童福祉法に基づき、保育に欠ける乳幼児の健全な心身の発達を図ることを目的に3つの公立保育所を設置しています。

なお、市内には、私立の保育所・認定こども園・小規模保育事業が15施設、私立幼稚園（認定こども園を含む）9園が設置されています。

施設分類	カルテ番号	対象施設	所在地	所管
保育所	035	中央保育所	鹿渡 895-33	保育課
	036	千代田保育所	千代田 5-30	
	037	中央保育所分園※	みそら 2-13	

※「中央保育所分園」は、小学校施設の「みそら小学校」の校舎内に設置しています。

【施設の位置図】



②現状と課題

【施設データ】平成 29 年度末現在

施設名	中学校地区	建設年	経過年数(年)	耐用年数(年)	延床面積(m ²)	運営形態	職員数(人)	支出額(千円)	収入額(千円)	差引収支(千円)	利用人数(人)	m ² あたり単価(千円)	利用者あたり単価(千円)
中央保育所	四街道北	H14	15	50	1,490	直営	正 19 臨 36	68,505	46,371	△22,134	1,682	45.976 ※1	40.728 ※1
千代田保育所	千代田	S52	40	50	1,102	直営	正 22 臨 25	40,938	37,843	△3,095	1,421	37.148	28.809
中央保育所分園	旭	—	—	—	326 ※2	委託	委 12	31,518	7,421	△24,097	336	—	93.803

※1 本表では、正職員（市職員）の人件費を含まないため、臨時職員の職員数の割合が高い中央保育所は、単位あたりの費用が千代田保育所と比較し高くなっています。

※2 記載の面積は、みそら小学校の延床面積のうち、中央保育所分園として使用している面積を記載しています。

◎保育所は、児童福祉法に基づき保育に欠ける乳幼児（0～5歳児）の保育を行い、児童の健全な心身の発達を図るとともに保護者に対する育児支援や指導を行うもので、日曜祝日・年末年始を除く毎日、8時30分から17時まで保育事業を行うほか、延長保育や一時保育などの特定保育を実施しています。また、保育料は、世帯の収入状況によって設定されます。

ア 中央保育所

中央保育所は、鉄筋コンクリート造2階建て、延床面積は1,490m²。平成14年に建設した新耐震基準の建物です。

定員120人に対して受け入れ児童数は138人（平成29年4月1日）となっており、管理運営は直営で、保育士など55人（正規職員19人、臨時職員36人）を配置し、管理運営費は、68,505千円/年（市職員人件費を除く。）、保育料の収入は46,371千円/年となっています。

イ 千代田保育所

千代田保育所は、鉄筋コンクリート造2階建て、延床面積は1,102m²。昭和52年に建設した旧耐震基準の建物ですが、耐震診断の結果、基準を満たしていると判定され、平成17年度には大規模改修も実施していますが、建設から40年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。

定員120人に対して受け入れ児童数は115人（平成29年4月1日）となっており、管理運営は直営で、保育士など48人（正規職員22人、臨時職員26人）を配置し、管理運営費は、40,938千円/年（市職員人件費を除く。）で、保育料の収入は37,843千円/年となっています。

ウ 中央保育所分園

中央保育所分園は、平成18年にみそら小学校の校舎内（鉄筋コンクリート造3階建ての1階部分）の3教室の目的外使用許可を受け設置し、延床面積は326m²です。

定員29人に対して受け入れ児童数は28人（平成29年4月1日）となっており、管理運営は直営で、運営業務は委託し、管理運営費は、31,518千円/年（市職員人件費を除く。）で、保育料の収入は7,421千円/年となっています。

（公立保育園の定員と入所者数）平成29年4月1日現在

施設名	定員(年齢別)							入所者数(年齢別)						
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
中央保育所	12	15	12	21	30	30	120	5	23	25	26	29	30	138
千代田保育所	6	12	12	30	30	30	120	5	15	21	24	24	26	115
中央保育所分園	0	0	5	7	7	10	29	0	0	5	7	7	9	28
計	18	27	29	58	67	70	269	10	38	51	57	60	65	281

◎私立の保育所・認定こども園・小規模保育事業所は、15施設で定員の総数923人に対し、874人を受け入れて
ています。なお、保育施設の利用は、出産や育児休業明けなどにより、年度当初は定員に満たなくても、年
度末に向かい利用者が増え、定員を満たしていく傾向となっています。また、私立幼稚園（認定こども園を
含む）は、9園で、定員総数2,196人に対し、1,510人を受け入れていています。定員に満たない状況となってい
ますが、近年、夏季保育や時間外保育の充実とともに幼稚園利用者も微増傾向となっています。

（市内の民間保育園等）平成29年4月1日現在

種別	施設名	定員(年齢別)							入所者数(年齢別)						
		0	1	2	3	4	5	計	0	1	2	3	4	5	計
私立	四街道保育園	6	18	18	18	20	20	100	9	17	20	20	20	21	107
私立	さつき保育園	6	12	18	18	18	18	90	1	15	18	20	17	25	96
私立	大日保育園	9	15	16	50			90	8	18	18	20	21	19	104
私立	エンゼルステーション保育園	6	10	10	10	12	12	60	3	9	12	13	15	11	63
私立	ゆうゆう保育園	6	12	18	18	18	18	90	4	10	18	20	20	20	92
認定こども	認定こども園四街道さつき幼稚園(保育所部分)	0	6	6	8	8	8	36	0	6	6	6	9	10	37
私立	ココファン・ナーサリーもねの里	6	8	10	12	12	12	60	3	8	10	12	10	13	56
私立	ミルキーホーム四街道園	6	10	11	11	11	11	60	4	10	12	11	9	11	57
私立	テンダーラビング保育園わらび	6	10	11	11	11	11	60	5	8	12	12	11	12	60
私立	まちの保育園成山	7	10	10	11	11	11	60	0	9	10	11	9	5	45
小規模	まちの保育園四街道駅前	6	6	6	0	0	0	18	3	6	5	0	0	0	14
小規模	スクルドエンジェル四街道園	6	6	7	0	0	0	19	1	6	8	0	0	0	15
私立	ミルキーホームもねの里	6	10	11	11	11	11	60	4	9	11	6	4	2	36
私立	あい・あい保育園 四街道園	6	10	11	11	11	11	60	6	8	9	10	5	3	41
私立	かるがも保育園 四街道園	6	8	11	11	12	12	60	3	6	11	10	12	9	51
	計							923							874

（市内の民間幼稚園等）平成29年5月1日現在

種別	施設名	定員	満3歳	3歳	4歳	5歳	市内計	市外計	合計
幼稚園	緑ヶ丘幼稚園	270	2	68	81	77	228	21	249
幼稚園	さくらがおか幼稚園	240	0	57	42	73	172	4	176
幼稚園	四街道旭幼稚園	240	0	63	77	78	218	3	221
幼稚園	つばみ幼稚園	250	2	39	62	47	150	2	152
幼稚園	千代田幼稚園	270	0	20	21	32	73	2	75
幼稚園	くりやま幼稚園	270	1	57	64	59	181	2	183
幼稚園	第二コスモス幼稚園	240	0	27	28	30	85	15	100
幼稚園	みそら幼稚園	240	1	57	63	59	180	18	198
認定こども	認定こども園四街道さつき幼稚園(幼稚園部分)	176	0	37	51	41	129	27	156
	計	2196							1510

③施設評価と対応方針

「施設の安全性、必要性」、「施設の有効性」、「管理運営の効率性」について以下のように分析しました。

【分析】

対象施設	施設の安全性、必要性	施設の有効性	管理運営の効率性
中央保育所	<ul style="list-style-type: none"> 中央保育所は、耐震基準を満たしています。 千代田保育所は、耐震基準を満たし、大規模改修も実施していますが、老朽化が進んでいます。 中央保育所分園を設置しているみそら小学校は、耐震基準を満たしています。 児童福祉法に基づき、保育に欠ける乳幼児の保育を行い、児童の健全な心身の発達を図るとともに保護者に対する育児支援や指導を行うための保育所の機能は、今後も継続していく必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 就学前児童数は微増傾向ですが、共働き世帯の増加により保育所に対するニーズは急速に高まる中、ほぼ定員どおり児童が入所しており、有効に機能しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設管理の一部や運営業務の一部を委託し、効率化を図っています。
千代田保育所			
中央保育所分園			

上記分析を踏まえて、当該施設については、以下のように対応します。

【評価結果】

対象施設	方向性		説明
	機能	施設	
中央保育所	検討	検討	【機能】 ・児童福祉法に基づく施設であり、保育に欠ける乳幼児の保育を行うために、今後も継続していく必要がありますが、公立保育所と民間保育所等との保育サービス水準やコストの比較や公立と民間の役割分担を明確にし、公立保育所の適正な配置やあり方についての検討が必要です。 【施設】 ・継続する施設は、予防保全を含め、施設の計画的な改修などを行い、長寿命化を図る必要があります。 【管理運営】 ・公立保育所と民間保育所等との保育サービスの水準の比較、国・県からの補助金を含めたコスト分析を実施する必要があります。
千代田保育所			
中央保育所分園		—	

【対応方針】

- 公立保育所と民間保育所等との保育サービス水準の比較、国・県からの補助金を含めたコスト分析を実施するとともに、公立と民間の役割分担を明確にし、民間保育所の配置状況・定員・受け入れ状況を勘案し、民間が定員割れにより、運営に支障をきたすような状況となった場合の対応方針や公立保育所の適正配置等のあり方、併せて、民間活力を活用した保育所の運営について検討します。
- 継続する施設は、予防保全を含め、施設の計画的な改修などを行い、長寿命化を図ります。

④展開スケジュール

課題事項	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)	2019年度 (R元年度)	2020年度 (R2年度)	2021年度 (R3年度)	2022年度 (R4年度)	2023年度 (R5年度)	2024年度 (R6年度)	2025年度 (R7年度)	2026年度 (R8年度)	2027年度 (R9年度)	2028年度 (R10年度)
保育所のあり方の検討			●	→	●			検討結果に基づく対応				→
(検討事項) ①公立と民間の保育サービス水準の比較・コスト分析、②公立と民間の役割分担、③民間が定員割れにより運営に支障がでた場合の対応方針、④公立保育所の適正配置、⑤民間活力による保育所運営												
施設の長寿命化(継続する施設)					●	→	●			計画に基づく対応		→

施設類型 子育て支援施設

施設分類 こどもルーム

①施設概要

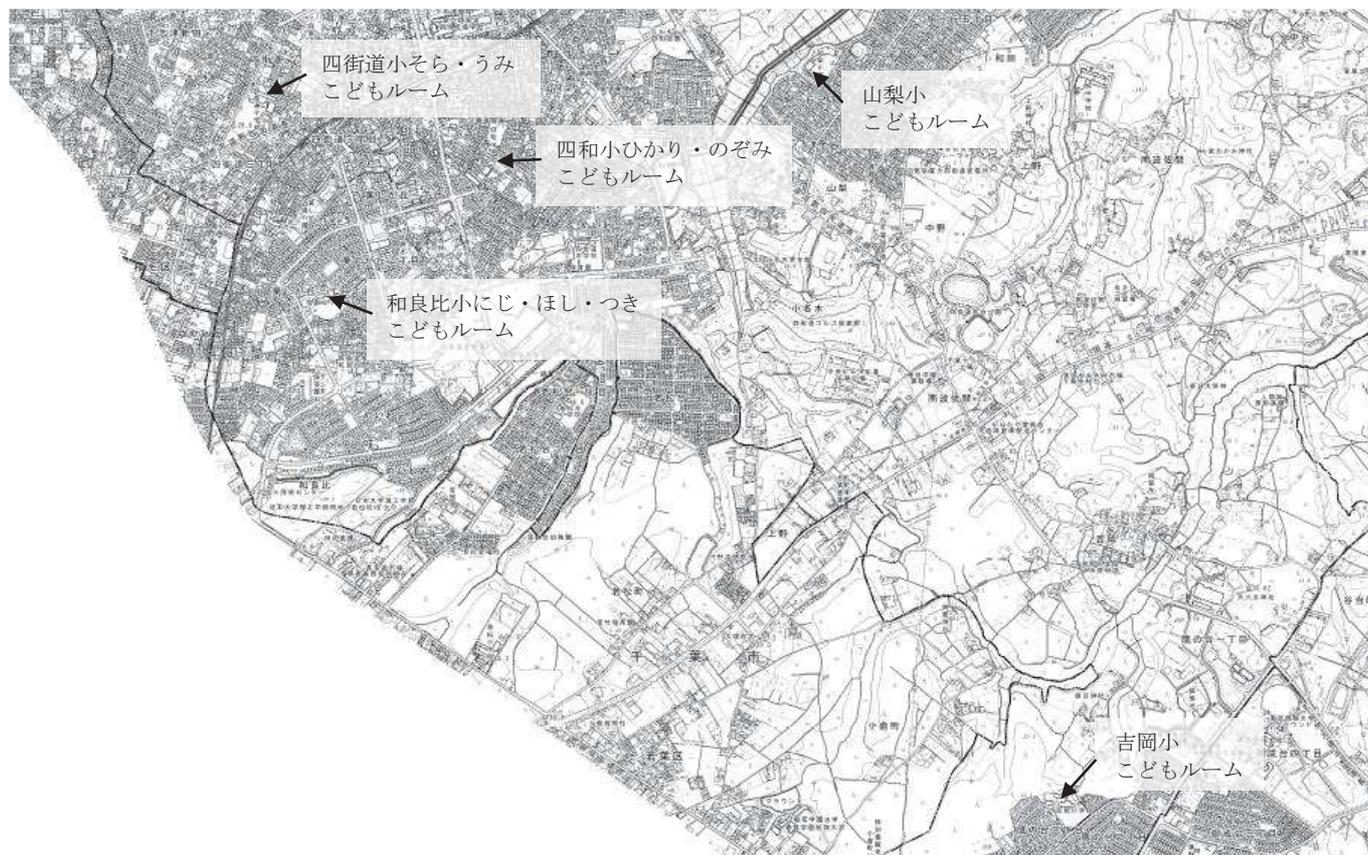
放課後や夏休みなどの学校休業日等に家庭で監護ができない小学1～6年生までを対象に、遊びや生活の場を提供する施設として、市内すべての小学校にこどもルームを設置しています。

施設分類	カルテ番号	対象施設	所在地	所管
こどもルーム	038	四街道小そら・うみこどもルーム	四街道 1557	保育課
	039	中央小あおば・わかばこどもルーム	鹿渡 917	
	040	旭小こどもルーム※	山梨 1485	
	041	大日小さくら・すみれこどもルーム	大日 978	
	042	八木原小こどもルーム	千代田 5-4	
	043	四和小ひかり・のぞみこどもルーム	和良比 228	
	044	吉岡小こどもルーム	鷹の台 3-2	
	045	和良比小にじ・ほし・つきこどもルーム	美しが丘 3-12	
	046	栗山小こどもルーム	つくし座 3-1-8	
	047	山梨小こどもルーム	旭ヶ丘 1-9-12	
	048	南小ゆり・ももこどもルーム	物井 1536	
049	みそら小こどもルーム	みそら 2-13		

※「旭小こどもルーム」は、小学校施設の「旭小学校」の校舎内の一部の移管を受け、設置しています。

【施設の位置図】





②現状と課題

【施設データ】平成 29 年度末現在

施設名	中学校地区	建設年	経過年数(年)	耐用年数(年)	延床面積(m ²)	運営形態	職員数(人)※6	支出額(千円)	収入額(千円)	差引収支(千円)	利用人数(人)※7	m ² あたり単価(千円)	利用者あたり単価(千円)
四街道小そら こどもルーム	四街道西	H13	16	38	106	直営	委 7	12,297	9,704	△2,593	8,114	116.009	1.515
四街道小うみ こどもルーム	四街道西	H13	16	38	93	直営	委 5	11,058	9,097	△1,961	7,596	118.903	1.455
中央小あおば こどもルーム※1	四街道北	H21	8	38	98	直営	委 6	10,741	8,429	△2,312	6,121	109.602	1.754
中央小わかば こどもルーム※1	四街道北	H21	8	38	98	直営	委 5	10,771	8,671	△2,100	7,341	109.908	1.467
旭小 こどもルーム	旭	—	—	—	116	直営	委 4	6,816	5,607	△1,209	4,581	—	1.487
大日小さくら こどもルーム※2	四街道西	H10	19	38	85	直営	委 7	17,058	10,830	△6,228	9,706	200.682	1.757
大日小すみれ こどもルーム※2	四街道西	H30	0	38	133	直営	—	—	—	—	—	—	—
八木原小 こどもルーム	千代田	H15	14	38	91	直営	委 6	11,778	9,496	△2,282	8,470	129.428	1.390
四和小ひかり こどもルーム※3	四街道	H14	15	38	98	直営	委 5	8,562	7,179	△1,383	5,245	87.367	1.632
四和小のぞみ こどもルーム※3	四街道	H29	0	38	118	直営	委 5	8,494	6,727	△1,767	6,024	71.983	1.410
吉岡小 こどもルーム	旭	H12	17	38	85	直営	委 4	9,374	7,720	△1,654	5,435	110.282	1.724
和良比小にじ こどもルーム※4	四街道	H13	16	38	87	直営	委 6	12,308	10,050	△2,258	8,270	141.471	1.488
和良比小ほし こどもルーム※4	四街道	H17	13	38	71	直営	委 7	10,791	8,827	△1,964	7,300	151.985	1.478
和良比小つき こどもルーム※4	四街道	H30	0	38	119	直営	—	—	—	—	—	—	—
栗山小 こどもルーム	四街道北	H16	13	38	105	直営	委 4	4,964	3,940	△1,024	3,327	47.276	1.492
山梨小 こどもルーム	旭	H20	9	38	107	直営	委 4	3,482	2,910	△572	2,067	32.542	1.684
南小ゆりこどもルーム ※5	千代田	H29	0	38	109	直営	委 3	4,730	4,023	△707	3,315	43.394	1.426
南小もも こどもルーム※5	千代田	H29	0	38	109	直営	委 4	4,981	4,061	△920	3,108	45.697	1.602
みそら小 こどもルーム	旭	H26	3	38	92	直営	委 3	3,739	2,877	△862	2,160	40.641	1.731

- ※1 「中央小こどもルーム」は、H28 から2ルーム（わかば・あおば）になりました。
- ※2 「大日小こどもルーム」は、増築し、H30 から2ルーム（さくら・すみれ）になりました。また、増築した「すみれこどもルーム」は本計画作成時においては管理運営費等のデータは確定していないため記載していません。
- ※3 「四和小こどもルーム」は、増築し、H29 から2ルーム（ひかり・のぞみ）になりました。
- ※4 「和良比小こどもルーム」は、増築し、H30 から3ルーム（にじ・ほし・つき）になりました。また、増築した「つきこどもルーム」は本計画作成時においては管理運営費等のデータは確定していないため記載していません。
- ※5 「南小こどもルーム」は、校舎内に設置していましたが、児童の増加により H28 に別棟で新築しました。（H29 から2ルーム）
- ※6 職員数は、年度当初の人数です。
- ※7 利用人数は、年間の延べ人数です。

◎こどもルームは、就労等の事情により、放課後、保護者が家庭にいない小学校1年生から6年生の児童を対象として、日曜日・祝日・年末年始を除く毎日、平日は下校時から18時（時間外利用の場合19時）まで、土曜日と夏休み等の学校休業日は8時から18時（時間外利用の場合19時）まで開設しています。すべての施設の管理運営は直営ですが、保育業務は市社会福祉協議会に委託し、保育料は月額8,500円（一般世帯・第一子。なお、時間外・土曜日保育及び夏季保育等は別途保育料がかかります。）で、事前に登録が必要です。

少子化に伴い児童数は減少傾向ですが、共働き世帯の増加により、放課後子ども対策は、子育て支援の一環として今後も高いニーズが予想されるため、こどもルームは今後とも小学校ごとに配置されていることが必要と考えられます。なお、現在、いずれの施設も学校の校舎内若しくは学校敷地内に設置している状況です。今後、こどもルームの改修、あるいは、学校施設の改修などに備えて配置基準を明確にしていくことが課題となっています。

また、管理運営について、自治体によっては、指定管理者制度を導入しているほか、利用者が運営組織を設置して行政から運営費に対する補助を受けながら自主的に実施しているケースなどもあることから、より効率化を図ることなどを観点とした最適な管理運営手法を確立していくことも課題であると考えられます。

ア 四街道小そらこどもルーム

四街道小そらこどもルームは、鉄骨造平屋建て、延床面積は106㎡。平成13年に建設した新耐震基準の建物です。

定員45人に対して、現在の在籍児童数は54人となっています。指導員は7人を配置し、管理運営費は12,297千円/年（市職員人件費を除く。）で、保育料等の収入は9,704千円/年となっています。

※在籍児童数は平成29年4月現在（以下同じ）

イ 四街道小うみこどもルーム

四街道小うみこどもルームは、鉄骨造平屋建て、延床面積は93㎡。平成13年に建設した新耐震基準の建物です。

定員40人に対して、現在の在籍児童数は47人となっています。指導員は5人を配置し、管理運営費は11,058千円/年（市職員人件費を除く。）で、保育料等の収入は9,097千円/年となっています。

ウ 中央小あおばこどもルーム

中央小あおばこどもルームは、鉄骨造平屋建て、延床面積は98㎡。平成21年に建設した新耐震基準の建物です。

定員40人に対して、現在の在籍児童数は44人となっています。指導員は6人を配置し、管理運営費は10,741千円/年（市職員人件費を除く。）で、保育料等の収入は8,429千円/年となっています。なお、当ルームは、土曜日には、すべてのこどもルームを対象とした合同保育を実施しています。

エ 中央小わかばこどもルーム

中央小わかばこどもルームは、鉄骨造平屋建て、延床面積は 98 m²。平成 21 年に建設した新耐震基準の建物です。

定員 40 人に対して、現在の在籍児童数は 45 人となっています。指導員は 5 人を配置し、管理運営費は 10,771 千円/年（市職員人件費を除く。）で、保育料等の収入は 8,671 千円/年となっています。なお、当ルームは、土曜日には、すべてのこどもルームを対象とした合同保育を実施しています。

オ 旭小こどもルーム

旭小こどもルームは、平成 9 年に校舎内（鉄筋コンクリート造 3 階建ての 1 階＝新耐震基準の建物）の 1 教室の移管を受け、設置し、延床面積は 116 m²です。

定員 45 人に対して、現在の在籍児童数は 28 人となっています。指導員は 4 人を配置し、管理運営費は 6,816 千円/年（市職員人件費を除く。）で、保育料等の収入は 5,607 千円/年となっています。

カ 大日小さくらこどもルーム

大日小さくらこどもルームは、鉄骨造平屋建て、延床面積は 85 m²。平成 10 年に建設した新耐震基準の建物です。

定員 40 人に対して、現在の在籍児童数は 51 人となっています。指導員は 7 人を配置し、管理運営費は 17,058 千円/年（市職員人件費を除く。）で、保育料等の収入は 10,830 千円/年となっています。

キ 大日小すみれこどもルーム

大日小すみれこどもルームは、鉄骨造平屋建て、延床面積 133 m²。受け入れ児童数の増加により、平成 30 年に建設した新耐震基準の建物です。

※本計画作成時においては、管理運営費等のデータは確定していないため記載していません。

ク 八木原小こどもルーム

八木原小こどもルームは、鉄骨造平屋建て、延床面積は 91 m²。平成 15 年に建設した新耐震基準の建物です。

定員 40 人に対して、現在の在籍児童数は 50 人となっています。指導員は 6 人を配置し、管理運営費は 11,778 千円/年（市職員人件費を除く。）で、保育料等の収入は 9,496 千円/年となっています。

ケ 四和小ひかりこどもルーム

四和小ひかりこどもルームは、鉄骨造平屋建て、延床面積は 98 m²。平成 14 年に建設した新耐震基準の建物です。

定員 40 人に対して、現在の在籍児童数は 37 人となっています。指導員は 5 人を配置し、管理運営費は 8,562 千円/年（市職員人件費を除く。）で、保育料等の収入は 7,179 千円/年となっています。

コ 四和小のぞみこどもルーム

四和小のぞみこどもルームは、鉄骨造平屋建て、延床面積は 118 m²。平成 29 年に建設した新耐震基準の建物です。

定員 40 人に対して、現在の在籍児童数は 37 人となっています。指導員は 5 人を配置し、管理運営費は 8,494 千円/年（市職員人件費を除く。）で、保育料等の収入は 6,727 千円/年となっています。

サ 吉岡小こどもルーム

吉岡小こどもルームは、鉄骨造平屋建て、延床面積は 85 ㎡。平成 12 年に建設した新耐震基準の建物です。

定員 40 人に対して、現在の在籍児童数は 38 人となっています。指導員は 4 人を配置し、管理運営費は 9,374 千円/年（市職員人件費を除く。）で、保育料等の収入は 7,720 千円/年となっています。

シ 和良比小にじこどもルーム

和良比小にじこどもルームは、鉄骨造平屋建て、延床面積 87 ㎡。平成 13 年に建設した新耐震基準の建物です。

定員 30 人に対して、現在の在籍児童数は、47 人となっています。指導員は 6 人を配置し、管理運営費は 12,308 千円/年（市職員人件費を除く。）で、保育料等の収入は 10,050 千円/年となっています。

ス 和良比小ほしこどもルーム

和良比小ほしこどもルームは、鉄骨造平屋建て、延床面積 71 ㎡。平成 17 年に建設した新耐震基準の建物です。

定員 30 人に対して、現在の在籍児童数は、47 人となっています。指導員は 7 人を配置し、管理運営費は 10,791 千円/年（市職員人件費を除く。）で、保育料等の収入は 8,827 千円/年となっています。

セ 和良比小つきこどもルーム

和良比小つきこどもルームは、鉄骨造平屋建て、延床面積 119 ㎡。受け入れ児童数の増加により、平成 30 年に建設した新耐震基準の建物です。

※本計画作成時においては、管理運営費等のデータは確定していないため記載していません。

ソ 栗山小こどもルーム

栗山小こどもルームは、鉄骨造平屋建て、延床面積は 105 ㎡。平成 16 年に建設した新耐震基準の建物です。

定員 40 人に対して、現在の在籍児童数は 18 人となっています。指導員は 4 人を配置し、管理運営費は 4,964 千円/年（市職員人件費を除く。）で、保育料等の収入は 3,940 千円/年となっています。

タ 山梨小こどもルーム

山梨小こどもルームは、鉄骨造平屋建て、延床面積は 107 ㎡。平成 20 年に建設した新耐震基準の建物です。

定員 30 人に対して、現在の在籍児童数は 12 人となっています。指導員は 4 人を配置し、管理運営費は 3,482 千円/年（市職員人件費を除く。）で、保育料等の収入は 2,910 千円/年となっています。

チ 南小ゆりこどもルーム

南小ゆりこどもルームは、木造平屋建て、延床面積は 109 ㎡。平成 29 年に建設した新耐震基準の建物です。平成 28 年度までは、校舎内に設置し、運営していましたが、平成 29 年度からは、新たに別棟で建設しました。

定員 40 人に対して、現在の在籍児童数は 21 人となっています。指導員は 3 人を配置し、管理運営費は 4,730 千円/年（市職員人件費を除く。）で、保育料等の収入は 4,023 千円/年となっています。

ツ 南小ももこどもルーム

南小ももこどもルームは、木造平屋建て、延床面積は 109 ㎡。平成 29 年に建設した新耐震基準の建物です。平成 28 年度までは、校舎内に設置し、運営していましたが、平成 29 年度からは、新たに別棟で建設しました。

定員 40 人に対して、現在の在籍児童数は 22 人となっています。指導員は 4 人を配置し、管理運営費は 4,981 千円/年（市職員人件費を除く。）で、保育料等の収入は 4,061 千円/年となっています。

テ みそら小こどもルーム

みそら小こどもルームは、鉄骨造平屋建て、延床面積は 92 ㎡。平成 26 年に建設した新耐震基準の建物です。

定員 30 人に対して、現在の在籍児童数は 14 人となっています。指導員は 3 人を配置し、管理運営費は 3,739 千円/年（市職員人件費を除く。）で、保育料等の収入は 2,877 千円/年となっています。

③施設評価と対応方針

「施設の安全性、必要性」、「施設の有効性」、「管理運営の効率性」について以下のように分析しました。

【分析】

対象施設	施設の安全性、必要性	施設の有効性	管理運営の効率性
四街道小そら・うみこどもルーム 中央小あおば・わかばこどもルーム 旭小こどもルーム 大日小さくら・すみれこどもルーム 八木原小こどもルーム 四和小ひかり・のぞみこどもルーム 吉岡小こどもルーム 和良比小にじ・ほし・つきこどもルーム 栗山小こどもルーム 山梨小こどもルーム 南小ゆり・ももこどもルーム みそら小こどもルーム	<ul style="list-style-type: none"> 耐震基準を満たしていますが、築 15 年以上の 6 施設は、老朽化が進んでいます。 児童福祉法に基づき、放課後児童に対する適切な遊び及び生活の場を提供しその健全な育成を図るため、今後も継続していく必要があります。 	<ul style="list-style-type: none"> 放課後の児童の健全な育成を図り、子どもの居場所として有効に機能しています。 定員を上回っている施設もありますが、利用実態を更に精査し、児童 1 人当たりの面積基準に配慮した運営が必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営業務を委託し、効率化を図っています。

上記分析を踏まえて、当該施設については、以下のように評価し、対応します。

【評価結果】

対象施設	方向性		説明
	機能	施設	
四街道小そら・うみこどもルーム 中央小あおば・わかばこどもルーム 旭小こどもルーム 大日小さくら・すみれこどもルーム 八木原小こどもルーム 四和小ひかり・のぞみこどもルーム 吉岡小こどもルーム 和良比小にじ・ほし・つきこどもルーム 栗山小こどもルーム 山梨小こどもルーム 南小ゆり・ももこどもルーム みそら小こどもルーム	継続	継続	【機能】 ・放課後児童に対する適切な遊び及び生活の場を提供するため、今後も継続していく必要があります。 【施設】 ・当面、現在の施設については、安全な施設を維持するため、必要な修繕等を実施する必要があります。また、今後の整備は小学校の統廃合に協調して実施します。（旭小こどもルームは、校舎内に設置のため、小学校の所管と連携し実施します。） 【管理運営】 ・管理運営の更なる効率化を図るため、現在の管理運営手法を検証し、NPO法人や民間への委託や保護者の自主運営なども含め、多様な運営形態を検討する必要があります。

【対応方針】

- 当面、需要のある施設と見込まれますが、増改築等が必要となった場合は、可能な限り既存の学校施設などを利活用する方向で検討します。
- 当面、現在の施設については、必要な修繕等を実施し、安全な施設を維持します。
- 管理運営の更なる効率化を図るため、現在の管理運営手法を検証し、NPO法人や民間への委託や保護者の自主運営なども含め、多様な運営形態を検討します。

④展開スケジュール

課題事項	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)	2019年度 (R元年度)	2020年度 (R2年度)	2021年度 (R3年度)	2022年度 (R4年度)	2023年度 (R5年度)	2024年度 (R6年度)	2025年度 (R7年度)	2026年度 (R8年度)	2027年度 (R9年度)	2028年度 (R10年度)
管理運営についての検討			●	→	●			検討結果に基づく対応				→